



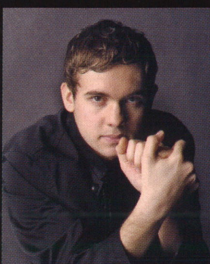
“音楽の本質”を
問いかける

佐渡 裕 指揮

Yutaka Sado

兵庫芸術文化センター管弦楽団

© 飯島隆



ピアノ / エフゲニ・ボジャノフ

リヒテル国際ピアノコンクール最高位
エリザベート国際ピアノコンクール第2位
シヨパンコンクール第4位

『ボジャノフは他の誰もくれない特別なものを与えてくれた。
審査員という立場を忘れて、私は思わず立ち上がり、
大きな拍手を贈ってしまった』

マルタ・アルゲリッチ

Program

ウェーバー：舞踏への勧誘 op.65, J.260

ショパン：ピアノ協奏曲 第2番 へ短調 op.21
＜ピアノ＞エフゲニ・ボジャノフ

ブラームス：交響曲 第2番 二長調 op.73

指揮・芸術監督：佐渡 裕

ピアノ：エフゲニ・ボジャノフ

管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団

2015年4月21日(火)

東京エレクトロンホール宮城

開演 19:00 (開場 18:30)

S席 11,000円 A席 8,500円 B席 6,000円 C席 4,000円

【プレイガイド】

■藤崎 ■仙台三越 ■エスバル仙台店 ■チケットぴあ〔Pコード：251-810〕 ■ローソンチケット〔Lコード：21404〕 ■セブン-イレブン〔セブンコード：035-285〕
■イープラス <http://eplus.jp/> ■ヤマハミュージック東北仙台店 ■カワイミュージックショップ仙台 ■東京エレクトロンホール宮城 ■ミヤギテレビホームページ・ミヤギテレビ事業部

【ご予約・お問い合わせ】 ミヤギテレビ事業部 022-215-7700 <http://www.mmt-tv.co.jp/event/sado2015/>
東京エレクトロンホール宮城 022-225-8641 <http://www.miyagi-hall.jp>

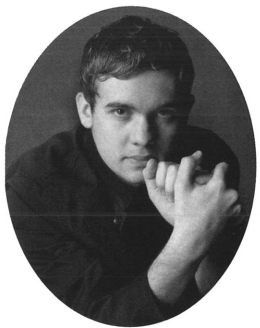
※未就学児童のご入場はご遠慮ください。※やむを得ない事情により、出演者、曲目等が変更になる場合があります。 ※ご来場の際には、近隣駐車場には限りがございますので、地下鉄やバスなどの公共交通機関をご利用ください。

主催：ミヤギテレビ 宮城県文化振興財団 宮城県 後援：仙台市市民文化事業団 仙台フィルハーモニー管弦楽団 企画制作：クリスタル・アーツ 協力：兵庫県立芸術文化センター



〔指揮・芸術監督〕佐渡 裕 Yutaka Sado

京都市出身、京都市立芸術大学卒業。故レナード・バーンスタイン、小澤征爾らに師事。1989年ブザンソン指揮者コンクール優勝。1995年第1回レナード・バーンスタイン・エルサレム国際指揮者コンクール優勝。パリ管弦楽団、ケルン WDR 交響楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ロンドン交響楽団、北ドイツ放送交響楽団等一流オーケストラを毎年多数指揮している。2015年9月よりオーストリアを代表する、107年の歴史を持つトーンクンストラ管弦楽団音楽監督に就任する。国内では兵庫県立芸術文化センター芸術監督、シエナ・ウインド・オーケストラの首席指揮者を務めるほか、「題名のない音楽会」（テレビ朝日系列）の司会者を務めている。2014年10月、自身3冊目となる最新著書「棒を振る人生〜指揮者は時間を彫刻する」をPHP 新書より発売。
オフィシャルファンサイト：<http://yutaka-sado.meetsfan.jp>



〔ピアノ〕エフゲニ・ボジャノフ Evgeni Bozhanov

ブルガリア出身。2008年リヒテル国際ピアノコンクール優勝、10年エリザベート王妃国際ピアノコンクール第2位、同年シヨパン国際コンクール第4位他、数多くの国際コンクールで入賞。11年シヨパン・フェスティバル（ワルシャワ）に招待され、オープニング公演でシヨパン「ピアノ協奏曲第1番」を演奏、同時にリサイタルも行った。ベルリン・ドイツ響、イタリア・RAI 国立響、フィレンツェ五月音楽祭管、スイス・イタリアーナ管等と共演。日本では、11年1月佐渡 裕 指揮兵庫芸術文化センター管弦楽団定期演奏会のソリストとしてデビュー。CD『フレデリック・シヨパン』が「ドイツレコード評論賞」を受賞。「優等生のピアノではないのだけれど、すべてが法則の中で作られ、とてもユニークな世界観で聴く人を魅了する」と佐渡はその将来性を期待する。

〔管弦楽〕兵庫芸術文化センター管弦楽団 Hyogo Performing Arts Center Orchestra

2005年9月に設立。世界中でオーディションを行い、世界各地から若手演奏家を集め優秀な人材を輩出するアカデミーの要素も持つ、世界でも類を見ない新しいシステムのオーケストラ。設立時から芸術監督を佐渡 裕が務め、定期演奏会をはじめ、名曲、ファミリー、ポップス等のコンサートや室内楽シリーズ、県内中学1年生を対象とした「わくわくオーケストラ教室」、毎年夏の芸術監督プロデュース・オペラでの演奏など、多彩な活動を展開している。2006年関西西元気文化圏賞ニューパワー賞、2011年神戸新聞平和賞受賞。通称 PAC(バック) オーケストラ。<http://hpac-orc.jp>

感謝と歓びに満ち溢れたブラームス“希望”のシンフォニー

阪神・淡路大震災の復興のシンボルとして2005年に誕生した
兵庫県立芸術文化センターは、
芸術監督の佐渡 裕のもと、開館10年で年間50万人以上の来訪者を誇る、
日本を代表する劇場に成長しました。
その劇場座付きのオーケストラが
「兵庫芸術文化センター管弦楽団」—— 通称 PAC オケです。
日本、ニューヨーク、ベルリン、ウィーン、ロンドンなど、世界各地の
オーディションで選ばれた35歳以下の新進気鋭の音楽家たちが結集。
「これまでの100年よりも、
これからの音楽界の100年に責任がある」と語る佐渡 裕が、
世界一フレッシュなメンバーと情熱的な演奏を届けます。

Program

ウェーバー：舞踏への勧誘 op.65, J.260

シヨパン：ピアノ協奏曲 第2番 へ短調 op.21
＜ピアノ＞エフゲニ・ボジャノフ

ブラームス：交響曲 第2番 二長調 op.73